

## 大阪ひびきの街 ザ・サンクタタワー

環境志向型タワーレジデンス

所在地	大阪市西区新町1-14-21					
建築主	オリックス不動産株式会社、株式会社大京、京阪電鉄不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社、大阪ガス都市開発株式会社					
設計者	株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所					
用途	共同住宅					
敷地面積	4,297.04 m <sup>2</sup>					
建築面積 (建ぺい率)	2669.12 m <sup>2</sup> (62.12%)					
延べ面積 (容積率)	99,964.47 m <sup>2</sup> (1,617.05%)					
構造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)					
階数	地上 53 階 / 地下 1 階					
CASBEE ランク	S	BEE 値	3.4			
大阪市の 重点評価	CO2 削減	4.0	省エネ 対策	4.0	みどり・ヒート 7イランド対策	4.0

全景写真



## 立地、周辺環境

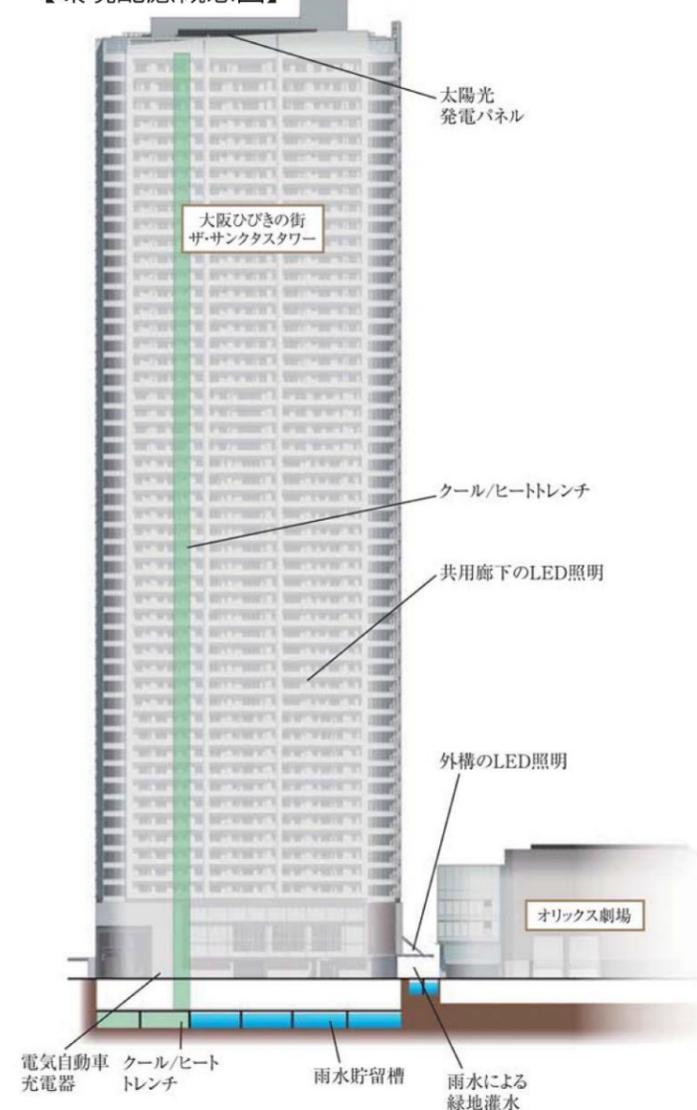
本町駅と四ツ橋駅の間部に位置し、利便性に優れた立地です。旧大阪厚生年金会館の重厚な外観を残したオリックス劇場があり、一体的な地区計画が定められています。また、南側には公園が広がる好立地です。

## 総合的なコンセプト

大阪市西区の旧大阪厚生年金会館跡地に建つ地上 53 階・地下 1 階・総戸数 874 戸の西日本最大級のタワーレジデンスです。再生可能エネルギーの利用や災害時の対応に配慮し、ランドマークとしてふさわしいデザインを目指しました。

## 建物断面構成図

【環境配慮概念図】



【防災対応概念図】



約 7 日間の停電・断水に備えた電気と水のライフライン

- ①非常用発電機対応の非常用エレベーター (2基)  
非常用発電機を電源にして運転できる非常用エレベーター (各階停止) を 2 基設置。
- ②屋上緊急離着陸場  
緊急時の負傷者搬送にも対応できるよう、屋上に緊急搬送用のヘリポートを設置
- ③内部廊下の常夜灯 (各階)  
避難ルートの明るさを確保するため、停電時には非常用発電機から各階内部廊下の常夜灯に給電
- ④棟内防災ポイント (2階・30階)  
照明・コンセント・トイレを確保できる防災ポイントをマンション内 2カ所に設置。
- ⑤屋外防災ポイント  
屋外にも防災コンセントや給水栓を備えたポイントを整備
- ⑥防災倉庫  
災害備品や工具などを保管する防災倉庫を 1 階と 30 階に設置
- ⑦非常用発電機  
計画停電が実施された場合でも調達しやすい軽油を燃料とし、非常時にも柔軟に対応できるように配慮
- ⑧非常用発電機用オイルタンク (地下埋設)  
防災ポイントや非常用エレベーターへの給電を約 7 日間まかなえる容量 (軽油約 27,000 l) を確保
- ⑨30 階・高架水槽  
約 12K l 貯えられる高架水槽を設置
- ⑩地下 1 階・受水槽  
最大容量約 290K l の受水槽を設置
- ⑪地下・雨水貯留槽  
雨水貯留槽 (約 150K l) を設置
- ⑫地下・緊急用給水槽  
緊急用貯水槽 (約 100K l) を設置
- ⑬造水装置 (小型造水機)  
ろ過によって飲料水をつくれる移動式小型造水機を設置
- ⑭地下・緊急用排水槽  
下水道が使えなくなった場合にも配慮して、緊急用排水槽を設置

← 動線  
← 電気  
← 水  
← 燃料